

JP 2002-12099 A (NIPPON SEIKI CO., LTD.)

15 JANUARY 2002

## CUSTOMIZING DEVICE

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a customizing device that sets immediately a desired state.

**SOLUTION:** This device comprises a control unit 10 having a controlling part 13 that performs a keyless process adapted to drive a drive unit on the basis of a signal from a transmission part 31 at the time of certificating an identification code D in order to identify a user from a transmitter 31 being the transmission part and that controls an air conditioner 40, audio 50, a power window 60 and a power sheet 70 being electrical equipments to be mounted on a vehicle as well as that performs a customize mode for registering various settings of the electrical equipments, a terminal 15 put in the controlling part 13 so as to input a signal to perform the customize mode, an input part 90 to set the settings in performing the customize mode, a display part 12 to display the settings and a memorizing part 14 to register the settings set by the input part 90 with relation to the identification code D. The control unit 10 is a meter unit having various meters to display the vehicular state and the display part corresponds to the meters.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-12099

(P 2002-12099A)

(43) 公開日 平成14年1月15日 (2002.1.15)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード (参考)
B60R 16/02	660	B60R 16/02	660 C 3D044
B60K 35/00		B60K 35/00	Z

審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全7頁)

(21) 出願番号 特願2000-203035 (P 2000-203035)

(22) 出願日 平成12年6月30日 (2000.6.30)

(71) 出願人 000231512

日本精機株式会社

新潟県長岡市東蔵王2丁目2番34号

(72) 発明者 田村 繁明

新潟県長岡市東蔵王2丁目2番34号 日本  
精機株式会社内

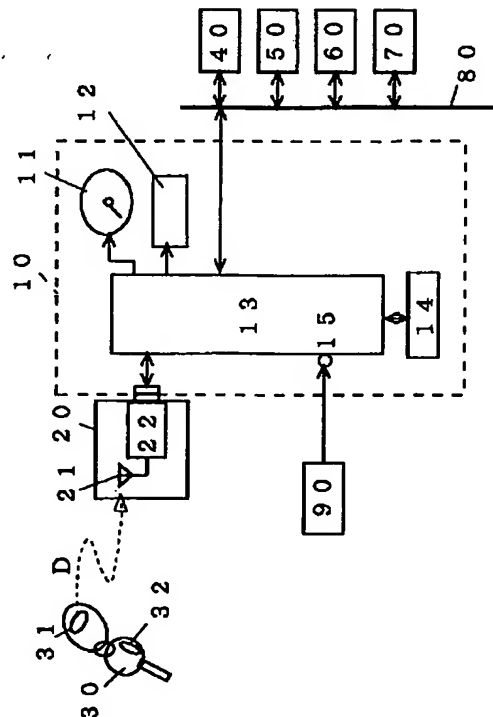
Fターム(参考) 3D044 BA19 BA27 BB01 BD01 BD13

(54) 【発明の名称】 カスタマイズ装置

(57) 【要約】

【課題】 即時に所望状態を設定するカスタマイズ装置を提供する。

【解決手段】 送信部であるトランスミッタ31からの利用者を特定するための識別コードDの認証確定時に送信部31からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品であるエアコン40、オーディオ50、パワーウィンド60、パワーシート70等の制御を行うと共に電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部13を有する制御ユニット10と、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための制御部13に有する端子15と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部90と、前記設定内容を表示する表示部12と、入力部90により設定される前記設定内容を識別コードDに関係付けて登録する記憶部14とを有する。制御ユニット10は、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、表示部12は前記メータである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を登録する記憶部とを有することを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 2】 車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 3】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有することを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 4】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 5】 前記識別コードは、前記カスタマイズモ

ードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードであることを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載のカスタマイズ装置。

【請求項 6】 前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードであることを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載のカスタマイズ装置。

【請求項 7】 前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容とすることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れかに記載のカスタマイズ装置。

【請求項 8】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記識別コードは、前記カスタマイズモードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容であることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 9】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであり、前記識別コードは、前記カスタマイズモードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容であることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 10】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づ

いて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容であることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 11】 送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであり、前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容であることを特徴とするカスタマイズ装置。

【請求項 12】 前記制御部は、前記車両の所定条件成立後に前記制御部により前記設定内容が読み出されて前記電装品を前記設定内容に応じた所定状態にプリセットする前記カスタマイズモードを実行することを特徴とする請求項 1 から請求項 4 及び請求項 8 から請求項 11 の何れかに記載のカスタマイズ装置。

【請求項 13】 前記所定条件は、前記車両のエンジン始動であることを特徴とする請求項 12 に記載のカスタマイズ装置。

【請求項 14】 前記所定条件は、前記車両のドア施錠後の前記ドア開錠であることを特徴とする請求項 12 に記載のカスタマイズ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば、四輪車両

(以下、車両)に搭載されるカスタマイズ装置に関し、車両の利用者が前記車両の電装品の各種設定を所望状態へ自動的に設定することを可能としたり、同一の車両を複数の利用者で使用する場合の前記利用者毎の前記車両の電装品の各種設定を所望状態へ自動的に設定することを可能とするカスタマイズ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、車両の利用者が前記車両の電装品の各種設定を所望状態へ自動的に設定することを可能としたり、同一の車両を複数の利用者で使用する場合の前記利用者毎の前記車両の電装品の各種設定を所望状態へ自動的に設定することを可能とする技術は知られており、例えば、座席位置やルームミラー角度、ラジオの選局、エアコン設定温度等の電装品の各種設定を利用者毎の所望状態への自動的な設定(プリセット)は、車両の使い勝手の向上に大きく寄与するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】現在実用化されている前記プリセットを行うための前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズ装置は、車両販売ディーラーに用意されているテスター等の専用装置であるため、利用者が前記所望状態を変更するにはそのディーラーへ出向くことを必要とするため、非常に煩わしい作業となっていた。

【0004】また、特開平 11-288296 号公報には、前記利用者から得られる情報に基づいて前記利用者を実際に特定することによって、その特定された利用者に対応する学習効果に基づく所定の情報処理を実行することにより、前記利用者毎にプリセットするものが開示されているが、前記学習を通して初めてプリセットが可能となる構成であって、即時に前記所望状態を設定する要望には応じにくい。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、本発明のカスタマイズ装置は、請求項 1 に記載のように、車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を登録する記憶部とを有する。

【0006】また、請求項 2 に記載のように、車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示す

る表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータである。

【0007】また、請求項3に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有する。

【0008】また、請求項4に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータである。

【0009】また、請求項3又は請求項4において請求項5に記載のように、前記識別コードは、前記カスタマイズモードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードである。

【0010】また、請求項3又は請求項4において請求項6に記載のように、前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードである。

【0011】また、請求項1から請求項4において請求項7に記載のように、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容とする。

【0012】また、請求項8に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための

前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記識別コードは、前記カスタマイズモードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容である。

【0013】また、請求項9に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであり、前記識別コードは、前記カスタマイズモードを実行する直前の認証確定時における前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容である。

【0014】また、請求項10に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容である。

【0015】また、請求項11に記載のように、送信部からの利用者を特定するための識別コードの認証確定時に前記送信部からの信号に基づいて駆動ユニットを駆動するキーレス処理及び車両に搭載される電装品の制御を

行うと共に前記電装品の各種設定を登録するカスタマイズモードを実行する制御部を有する制御ユニットと、前記カスタマイズモードを実行させる信号を入力するための前記制御部に有する端子と、前記カスタマイズモードの実行において前記設定に関する設定内容を設定する入力部と、前記設定内容を表示する表示部と、前記入力部により設定される前記設定内容を前記識別コードに関係付けて登録する記憶部とを有し、前記制御ユニットは、前記車両の状態に関する表示を行う各種メータを有するメータユニットであり、前記表示部は前記メータであり、前記識別コードは、前記設定内容を前記記憶部へ登録する際に前記制御部から要求されて前記送信部から送信される前記識別コードであり、前記設定内容は、前記入力部からの指示により前記制御部が前記カスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容である。

【0016】また、請求項1から請求項4及び請求項8から請求項11において請求項12に記載のように、前記制御部は、前記車両の所定条件成立後に前記制御部により前記設定内容が読み出されて前記電装品を前記設定内容に応じた所定状態にプリセットする前記カスタマイズモードを実行する。

【0017】また、請求項12において請求項13に記載のように、前記所定条件は、前記車両のエンジン始動である。

【0018】また、請求項12において請求項14に記載のように、前記所定条件は、前記車両のドア施錠後の前記ドア開錠である。

【0019】

【発明の実施の形態】本発明を、添付図面に示した実施形態に基づき説明する。

【0020】図1は、全体の構成を示しており、10は、走行速度やエンジン回転数等の走行情報をアナログ計器の指針指示にて表示するアナログメータ11や走行距離等の走行情報を複数桁のデジタル数字もしくはこれに類する意匠にて表示するデジタルメータ（本実施例では、6桁のデジタル数字に類する日の字状セグメントから成る走行距離計（ODO）又は区間距離計（TRIP））12等の車両の走行状態を表示する表示部を内蔵する制御ユニットたるメータユニット、13は、メータユニット10に内蔵され、各メータ11、12の駆動処理、後述する電装品を制御するための各種処理を兼用して行うマイコン等からなる制御部、20は、メータユニット10に着脱自在に設けられて、携帯用（例えば、イグニッションキー30に内蔵されている）のトランスミッタ31からの識別コードD（利用者毎に複数種類設定可能である）をアンテナ21を介して受信するRF受信部22を含む機能ユニットたる受信ユニット、14は、EEPROM等の記憶素子からなる記憶部、40は、制御部13からの命令である出力信号に基づいて制御され

るエアコン（AC）、50は、制御部13からの命令である出力信号に基づいて制御されるオーディオ（AD）、60は、制御部13からの命令である出力信号に基づいて制御されるパワーウィンド（PW）、70は、制御部13からの命令である出力信号に基づいて制御されるパワーシート（PS）であり、これらは多重通信線80を介してメータユニット10に接続されていると共にプリセットの対象となる電装品であり、この実施例ではメータユニット10がカスタマイズ装置となっている。

【0021】アンテナ21を介してRF受信部22で受信するトランスミッタ31から送られる利用者を特定するための識別コードDは、受信ユニット20から制御ユニット10へ送られ、記憶部14で記憶している内容と照合して一致していることが確認された認証確定時には、制御部13がドアロック等の駆動ユニット（図示しない）を制御して、ロックやアンロックを行うもので、これらはキーレス処理あるいはキーレスエントリー処理等と呼ばれる。

【0022】次に、図2を加えて、プリセットの手順について具体例を説明する。

【0023】この車両の利用者は、制御部13のカスタマイズ用端子15を外部より操作して制御部13が予め設定されているカスタマイズモードを実行するように指示を与える。具体的には、通常は電位がロウ・レベルにある端子15をキーボードやスイッチ等から成る入力部90の操作によりハイ・レベルへ変更することで行われる。

【0024】制御部12がカスタマイズモードに入ると、デジタルメータ12の表示形態を走行距離や区間距離を表示する通常モード（図2（a））からカスタマイズモードへ移行したことを示す表示へ切り替わるが、プリセットたる前記電装品の所望状態を変更する順番は、予め制御部13にプログラムされており、この実施例では、まずトランクスイッチ32の操作時間の設定を行う。トランクスイッチ32は、イグニッションキー30に付設されており、このスイッチ30を所定時間押圧操作することにより、車両のトランクが開くが、車両の工場出荷時点では初期値（700ミリ秒）が設定されており、その内容がデジタルメータ12で表示される（図2（b））。この設定内容で良ければ入力部90を操作して次の設定項目へ移動する（図2（d））が、設定内容を変更したい場合には入力部90で所望の数値（250ミリ秒）を設定した（図2（c））後に次の設定項目へ移動する。

【0025】なお、入力部90は、「通常モードとカスタマイズモードとの切り替え」「設定項目の選択」「設定内容の入力」「設定内容の登録」等の機能別に分けて複数個のスイッチにより構成しても良いし、カスタマイズモードへ移行するための専用のスイッチのみ設け、個

々の電装品の設定内容は、それらの電装品に用意されているスイッチ等を操作して行うように兼用する構成としても良い。あるいは、入力部 90 として 1 個のスイッチを用意し、短い時間の押圧操作で「通常モードとカスタマイズモードとの切り替え」「設定項目の選択」を行い、各設定項目においては短い時間の押圧操作で予め電装品毎に用意されている複数の設定内容を順次切り替えながら表示し、利用者の所望の前記設定内容が表示された時点で長い時間の押圧操作で「設定内容の登録」を行い、その後の短い時間の押圧操作で次の設定項目（電装品）へ移り、以下同様な操作を繰り返すことにより、前記電装品の所望状態を変更する構成とすることもできる。

【0026】以下同様であって、図 2 では、エンジン始動後のエアコン始動の選択、エンジン始動後のオーディオ始動の選択の例を示しており、両設定項目とも初期値は始動させない設定（図 2（d）、（f））だが、イグニッションスイッチ 30 のオフ時のエアコンの状態とは無関係にエンジン始動後にエアコンを自動的に始動させる設定（図 2（e））、オーディオを自動的に始動させる設定（図 2（g））にすることができる。

【0027】このような設定が一通り完了すると、前記設定内容は記憶部 14 の所定の領域に書き込まれて記憶保持される。この際、カスタマイズモードを実行する直前に使用したトランスミッタ 31 からの識別コード D と関連付けて登録（記憶）されている。図 3、図 4 は、記憶例を示しており、3 種類の識別コード D1～D3 毎に前記設定内容が記憶されている状態を示している。なお、カスタマイズモードを実行する前に識別コード D（D1～D3）を要求する構成としても良い。

【0028】斯かる構成により、トランスミッタ 31 を操作した利用者が車両に乗り込むと、その時受信ユニット 20 を介して制御部 13 が受信した識別コード D に基づき、制御部 13 はその識別コード D に関係付けられた電装品の設定内容を読み出し、それらに合わせて前記電装品を所望の状態にプリセットする。

【0029】例えば、図 3 の場合には、識別コード D が D1 であると認識されると、エアコン 40 とオーディオ 50 の電源をオン（駆動状態）にする。また、図 4 の場合には、識別コード D が D1 であると認識されると、エアコン 40 とオーディオ 50 の電源をオン（駆動状態）にすると共にエアコン 40 を「摂氏 a 度」、オーディオ 50 を「FM ラジオ c 局」に合わせ、パワーウインド 60 とパワーシート 70 を夫々「ポジション d」と「ポジション g」に合わせる。

【0030】なお、電装品の駆動には、大きな電氣的負

荷を伴うものがあることから、このようなプリセットは、前記車両の所定条件成立後に行われることが望ましく、その所定条件としては、例えば、利用者のイグニッションキー 30 の操作による前記車両のエンジン始動、又は、利用者のイグニッションキー 30 の操作による前記車両のドア施錠後の前記ドア開錠等が考えられる。前者では、エンジンの始動により十分な電力の供給が可能な状態にあることから前記電装品を駆動しても問題はないと思われるし、後者では、ドアをロックした後のアンロックであるから利用者が車両内に存在する蓋然性が高く前記電装品を駆動することによる不具合の発生に対しての処理が迅速に行われる可能性が高く大きな問題を生じないと考えられるからである。

【0031】また、カスタマイズモードの他の例としては、例えば、入力部 90 からの指示により制御部 13 がカスタマイズモードへ移行した時点における前記電装品の状態を前記設定内容として登録するものでも良い。

【0032】

【発明の効果】この発明によれば、即時に所望状態を設定するカスタマイズ装置を実現することができる効果を有するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施形態の構成を説明するブロック図。

【図 2】 同上の表示方法を説明する平面図。

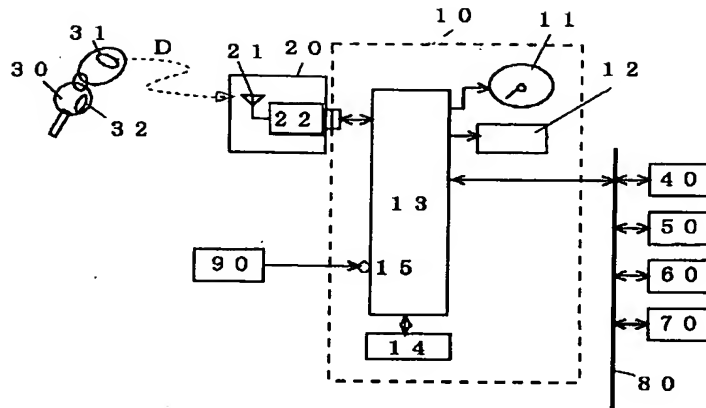
【図 3】 同上の設定内容を説明する説明図。

【図 4】 同上の他の設定内容を説明する説明図。

【符号の説明】

- 10 メータユニット（制御ユニット、カスタマイズ装置）
- 11 アナログメータ
- 12 デジタルメータ（表示部）
- 13 制御部
- 14 記憶部
- 20 受信ユニット（受信部）
- 30 イグニッションキー
- 31 トランスミッタ（送信部）
- 32 トランクスイッチ
- 40 エアコン（電装品）
- 50 オーディオ（電装品）
- 60 パワーウインド（電装品）
- 70 パワーシート（電装品）
- 80 多重通信線
- 90 入力部
- D（D1～D3） 識別コード

【図1】

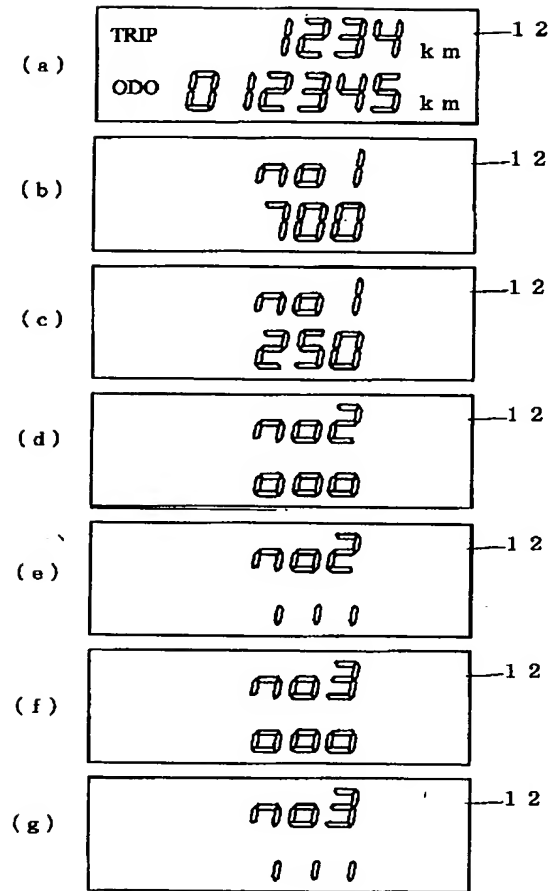


【図3】

識別コードD	トランクスイッチ スイッチS2時間	AC		AD	
		40始動		50始動	
D1	700 (ms)	1		1	
D2	250	1		0	
D3	250	0		0	

(注 1: オン 0: オフ)

【図2】



【図4】

識別コードD	AC40		AD50		PW60	PS70
	始動温度		始動選局		位置	位置
D1	1	a	1	c	d	g
D2	1	b	0		e	h
D3	0		0		f	i

(注 1: オン 0: オフ a~i: 数値)